

見晴台～茶ヶ床園地～鉄管道～キス岩～根性の木～

岩山～中峠～茶ヶ床園地～見晴台

見晴台からの 岩山

2021年2月7日

約半年ぶりに登山靴を履いた。今回は家内と二人でブラブラと散策である。

平尾台に到着する時間も遅く、11時を過ぎていた。まずは茶ヶ床園地駐車場に到着したが、路肩まで超満車。駐車場内を右往左往、どうしようもないので、Uターンして見晴台まで戻ることにした。運よく1台分のスペースが空いていた。



1週間後に野焼きが予定されている平尾台の丘陵。 のんびりした時間が流れる。

<コース概要>

1、見晴台 11時19分 ～ 2、茶ヶ床園地 ～ 3、鉄管道(通称) ～ 4、キス岩～
5、根性の木 ～ 6、岩山 ～ 7、中峠 ～ 8、茶ヶ床園地 ～ 9、見晴台 14時38分



1、見晴台 11時19分 スタート

一度、茶ヶ床園地まで行ってみたが、超満車状態で、仕方なく引き返した。

途中、見晴台に5台程度の駐車スペースがあるが、運よく一台分のスペースが開いていた。ここから舗装道路を茶ヶ床園地まで歩くことにした。

空模様は曇天。予報は晴れなのに残念だ。



茶ヶ床園地まで700m



深呼吸。自然はやっぱりいいな～。



舗装道路を歩く 11時21分

この車道は茶ヶ床園地に続いている。伸びる草と細いカーブで先が見え難い場所がある。車は必ず減速走行。車同士の対面となると特に注意が必要である。当然歩行者も注意！最近では電気自動車も多く、エンジン音に気が付かなくて、いつの間にか車が背後に迫っていると言う事もある。



2、茶ヶ床園地 11時31分

見晴台から12分。途中で野焼き(6日後)の手順を指示した看板を見つけた。



安全第一で！



東屋での休憩者はいないようだ



駐車場の中をまっすぐ進む



駐車場を通り抜け、車両進入禁止のゲート先の農道へ進む 11時33分 正面は大平山



鉄管道(通称)への分岐 11時38分

茶ヶ床園地から5分で分岐に出会う。ここから右へ進んでフィールド内に突入！



貫山方面へ

この分岐は四差路になっていて、直進すると吹上峠。左折すると平尾台自然観察センター。



両サイドに石灰岩 11時42分 とても歩きやすい道だ



鉄管道（通称） 11時50分

快調に登っていると時折、ルートに沿って足下に錆びた鉄管が現れる。いったいこの地表にむき出しの鉄管は何だろう？こんなところに水道管？現在も使われてるの？と、いろいろ疑問を感じながら登って行く。



道標が見えてきた。もうすぐ分岐だ。下の分岐からここまで17分で上ってきた。あっという間だった。

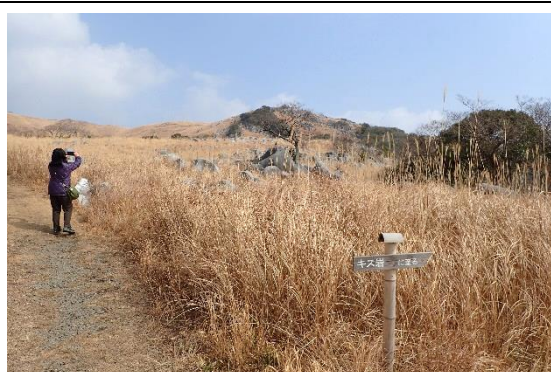
	3、鞍外し 11時55分 右へ進む ここは鞍外しと呼ばれているらしい。ここを左に上れば大平山。右に進めば中峠。  大平山迄800m
	左を見上げると大平山が見える 見渡す限り薄茶色の台地が広がる羊群原。枯れたネザサが風に吹かれてザワザワとしている。ここの地名が「鞍外し」と言う事は、以前はここまで馬がやってきて、何らかの理由で鞍を外していたことになる。いろいろと想像できるが、本当の名前の由来が知りたくなった。誰か教えて下さい(笑)
	キス岩への分岐 11時59分 鞍外しからすぐにキス岩の分岐に差し掛かる。支線を右に下ってキス岩へ。  見つかるかな？
	分岐から50m位？ ここに道標はない どこだったかな～とウロウロして探す。分岐から下って左側のどこかにあったはずなんだけど…。左に入る踏み分け道を見付けて10m程進んで行くと、あった、あった。なんとも言えない自然の造形。今や、平尾台で一番有名なピナクル(石灰岩)ではないだろうか？



4、キス岩 12時02分 はい、これがかの有名な「キス岩」です。

鑑賞はそこそこにしてUターン。

先程のキス岩への分岐手前の支線を右へ、するとそこに現れたのが・・・



5、根性の木 12時17分



ピナクルから伸びてきた根性の木って本当に不思議ですね。

根性の木も見つけることが出来てよかった。そして本線に戻って先へと進む。



またもや分岐 12時26分 左に

ここはどちらに進んでも岩山に行くことが出来るが、あえて左の遠回りで岩山へ。



この道標が目印

暫し休憩。地図を見ながら家内と相談してこれから岩山に向かう。

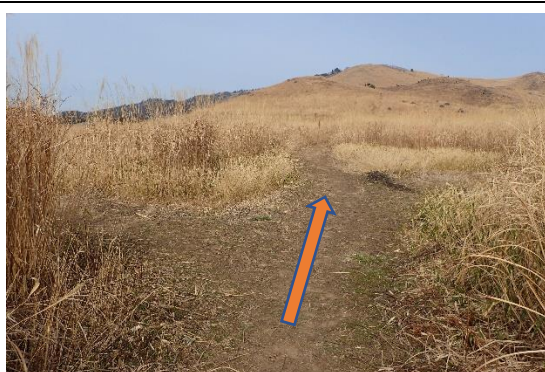
ここから分岐が出てくるので注意！



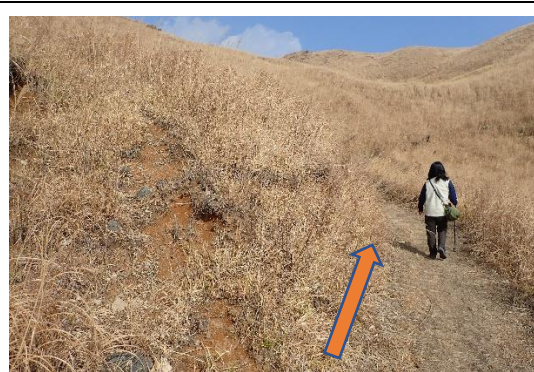
最初の分岐は左へ 12時27分
右折すると元の道に戻ってしまう



開いているゲートを通過 12時28分



2番目の分岐は右へ 12時29分
左折すると小穴十字路に続く

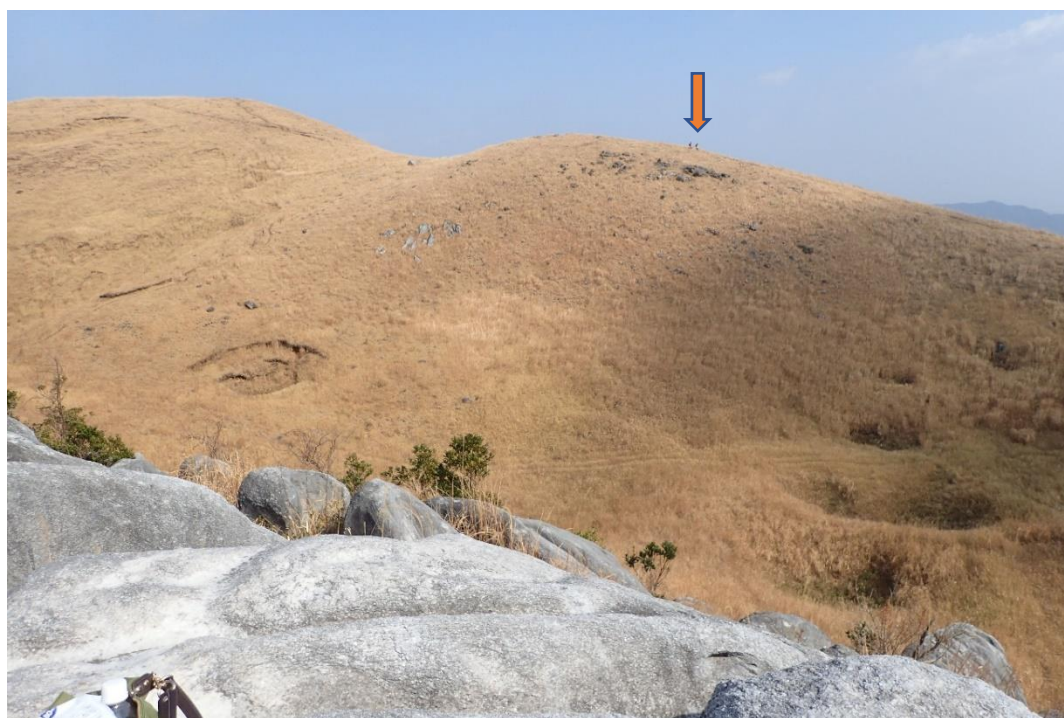


3番目の分岐も右へ 12時30分
左へ進むと四方台手前の尾根に乗る



4番目の分岐に差し掛かる 12時33分 目の前が岩山の山頂。この分岐は直進して上る。
分岐を左に登っていくと貫山への尾根に乗る

	山頂まであと少し 12時34分 少々霞んでいるが、右手の下界との高度感も味わいながら一步一步。  元気な足取り
 無事に登頂！記念撮影。	6、岩山 12時38分 茶ヶ床園地から、超ゆっくりペースで1時間27分だった。疲れは全くないが腹ペコ。  549m



山頂からの景観 12時39分 尾根を歩く登山者(矢印)を見ながら🍴おにぎりタイム
50分程腰を下ろして、のんびりした昼食タイムだった。



岩山を下山 13時28分

⚡ エネルギーを充電して再スタート。踏み跡を探しながら進んで行くと……。写真では見えないが、この場所から正面の岩の、手前(左)と向こう側(右)とに道が分かれる。どちらでもよいのだが、すぐに下山する人は左が望ましい。右に進めば休憩タイムにバッチリな、視界が広がる大きな石灰岩となる。



父親と2才頃の子供が仲良く休憩中だった 13時30分 茶ヶ床園地(矢印)が見えた！
 ここから茶ヶ床園地が見えるという事は、茶ヶ床園地からも岩山が確認できる筈。
 少々霞んでいるが、下山して確かめることにした。



石灰岩の間を縫うように下る



振り返ると岩山は文字通り岩だらけ



踏み跡を辿りながら下に見える道へ進む



この道を右へ進むと中峠へ続く 13時34分



分岐に辿り着く 13時41分 左へ
右に進むと大平山へ。左へ進むと中峠経由で茶ヶ床園地となる。



九州自然歩道



7、中峠 13時45分 右へ
一面枯葉の草原を眺めながら下って行く。中峠の分岐に到着すると、舗装道路となる。



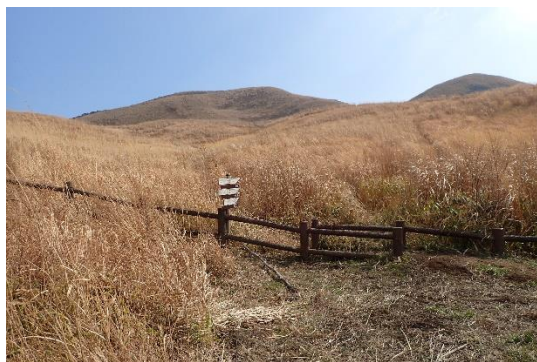
余裕の足取り



真っ直ぐ下ると茶ヶ床園地



中峠は平尾台の要



周防台への分岐 13時46分 通過

このルートは8年前の5月にH師匠と歩いたことがある。上につれて景観は抜群。また歩いてみたいルートの一つである。
今は枯草でルートがわかり難いが、野焼き後はルートがはっきり浮かび上がるだろう。
平尾台のフィールドのルートを全部歩いてみたいと思うのは私だけだろうか？



権現山を見上げる 13時56分 山腹を縦に割るあのルートを歩いてみたい



平尾台パトロールカー 13時57分

茶ヶ床園地が近づいたところで、後方から平尾台のパトロールカーが走ってきた。



鎖のゲート



霧囲気のある林を通り抜け



8、茶ヶ床園地へ到着 14時00分

茶ヶ床園地からのブラっと岩山周遊コースは、2時間30分だった。

茶ヶ床園地で休憩していくことにして東屋へ



平尾台の石碑と共に大平山(左)を撮影



ベンチに腰を下ろす 14時10分



今、登ってきた岩山はどこだ？と探すと・・・矢印の山が岩山だった！

	権現山と周防台 茶ヶ床園地の駐車場越しに撮影。あと1週間後には野焼きが行われる。そうすればこの薄茶色の山腹が真っ黒こげとなる。 平尾台は野焼きが終われば春が来ると言われている。真っ黒こげにはなるが、その後の山野草の芽吹きがまた楽しみである。そうなると一層登山者が増えるんだろうな～。
---	---

休憩を終え、駐車している見晴台へ

	見晴台へ 14時20分 茶ヶ床園地に駐車できなかったのもので、車道を歩いて見晴台へ。  通行車両に注意
	9、見晴台 14時35分 茶ヶ床園地から歩いて15分だった。 この見晴台から、桶が辻の稜線を見ると、昨年11月の山火事の焼け跡がまだ黒く残っている。天狗岩も熱かっただろうなあ～。17時間も燃え続けたと言うが、けが人が出ずよかった。平尾台のフィールド内では火気厳禁。マナーを守って登山を楽しもう！

なんとスマホを車内に置き忘れて、歩数を記録することが出来なかった(悲)

楽しい山歩き、お疲れさまでした。